

表6 男女別の受診状況 (62年6月診療)

疾病名	男性		女性	
	件数	金額	件数	金額
感染症及び寄生虫症	43	508,920	35	250,190
新生物	141	17,733,770	146	8,983,880
内分泌栄養及び代謝疾患	280	6,090,760	115	1,435,890
血液及び造血器の疾患	9	73,840	40	205,100
精神障害	122	2,124,570	49	284,060
神経系及び感覚器の疾患	566	4,805,540	589	3,670,600
循環器系の疾患	1,066	16,397,370	343	3,499,570
呼吸器系の疾患	957	7,798,990	841	6,393,770
消化器系の疾患	1,019	19,957,300	406	6,359,360
泌尿生殖器系の疾患	133	3,450,360	327	5,462,230
妊娠・分娩及び産じよくの合併症	-	-	244	9,473,550
皮膚及び皮下組織の疾患	498	3,097,250	474	2,159,770
筋骨格系及び結合組織の疾患	396	5,993,350	310	2,736,400
先天異常	3	43,930	3	19,290
周産期に発生した主要病態	-	-	-	-
症状徴候及び診断名不明確の状態	40	262,410	55	604,990
損傷及び中毒	212	3,148,980	156	1,264,930
計	5,485	91,487,340	4,133	52,803,580

で十八・七パーセント、以下消化器系の疾患、循環器系の疾患、神経系及び感覚器の疾患、皮膚及び皮下組織の疾患の順に続いています。  
更に金額では、第一位が新生物で十八・五パーセント、以下消化器系の疾患、循環器系の疾患、呼吸器系の疾患、妊娠・分娩及び産じよくの合併症の順となっています。

(2) 男女別の受診状況  
男性は、表6のとおり、五千四百八十五件で、受診率の上位五疾患は循環器系の疾患十九・四パーセント、以下消化器系の疾患、呼吸器系の疾患、神経系及び感覚器の疾患、皮膚及び皮下組織の疾患、女性は、四千

百三十三件で、呼吸器系の疾患二十・四パーセント以下神経系及び感覚器の疾患、皮膚及び皮下組織の疾患、消化器系の疾患、循環器系の疾患の順になっています。

図2 男女別の主要疾病受診率

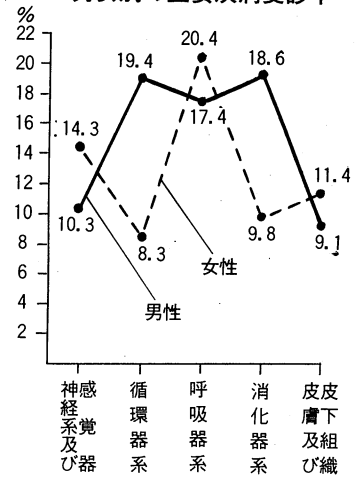
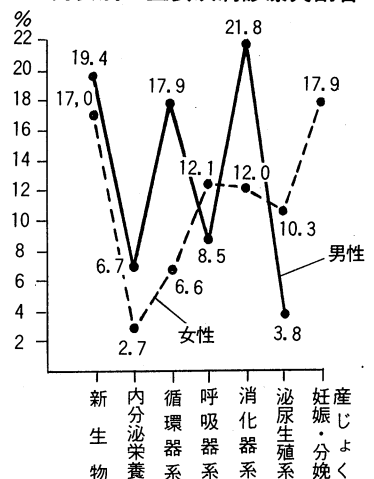


図3 男女別の主要疾病診療費割合



このように、疾患別の受診件数上位五位は、男女とも同じ疾患が含まれていますが、男女間の疾患別の受診率では、図2のとおり、循環器系の疾患と消化器系の疾患は、男性が高く女性が低くなっています。また、呼吸器系の疾患は、女性が高く男性が低くなっており大きな差異が見られます。

続いて、金額(診療費)の面から上位五疾患についてみると、男性は、消化器系の疾患二十一・八パーセント以下新生物、循環器系の疾患、呼吸器系の疾患、内分泌栄養及び代謝の疾患の順となっており、女性は、妊娠・分娩及び産じよくの合併症十七・九パーセント以下新生物、呼吸器系の疾患、消化器系の疾患、泌尿生殖器系の疾患の順になっています。

このように、上位五疾患では、図3のとおり、男女とも新生物が高位にあるほか、男性では、循環器系の疾患及び消化器系の疾患が、また、

表7 主要疾病の年代別受診率 (62年6月診療) \*受診率は、年代別教職員数に対する比

順位	疾病別	男性					女性					
		20代	30代	40代	50代	計	疾病別	20代	30代	40代	50代	計
1	循環器系	0.4%	1.5%	6.2%	16.3%	8.1%	呼吸器系	10.6%	9.5%	9.4%	8.0%	9.7%
2	消化器系	3.0%	6.8%	7.7%	10.6%	7.7%	神経・感覚器	5.8%	5.4%	7.5%	10.2%	6.8%
3	呼吸器系	8.0%	10.5%	6.9%	5.5%	7.3%	皮膚・皮下組織	4.7%	5.1%	5.9%	7.2%	5.4%
4	神経・感覚器	2.9%	3.4%	4.0%	5.6%	4.3%	消化器系	3.0%	3.4%	6.0%	8.4%	4.7%
5	皮膚・皮下組織	2.1%	4.3%	4.3%	4.1%	3.8%	循環器系	0.4%	1.2%	5.6%	14.5%	3.9%
6	新生物	0.2%	0.3%	1.0%	1.9%	1.1%	新生物	0.5%	1.2%	3.4%	2.3%	1.7%